

「平成30年度に実施した仕事」の振返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	雨水浸透ます・雨水貯留槽設置補助事業				
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係	課長名 廣瀬 裕

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	4 - 6	-
【施策名】 防災・防犯体制の推進	総合計画書 (ページ)	93	

予算名	款 1	総務費	項 1	総務管理費	目 1	総務管理費	事業 1	総務管理費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	------	-------

1	① 誰(何)を対象にしていますか。 ①②雨水浸透ますと雨水貯留槽の設置を検討している市内の既存住宅を所有する個人	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → ①雨水浸透ます設置件数 9件 ②雨水貯留槽設置件数 89件
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①水環境の保全及び雨水の流出抑制が図られる。 ②雨水の有効利用が図られる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → ①雨水浸透ます設置補助金交付件数(累計) 7件 ②雨水貯留槽設置補助金交付件数(累計) 78件
	③ そのために何をしましたか。 雨水浸透ます・雨水貯留槽設置費用の補助 ① 雨水浸透ます設置補助金額 上限70,000円 ② 雨水貯留槽設置補助金額 上限35,000円	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → ①雨水浸透ます設置補助金交付件数 0件 ②雨水貯留槽設置補助金交付件数 1件

2	指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	件	① 3 ② 14	① 2 ② 11	① 9 ② 89	/	/
		成果指標	②の数値	件	① 7 ② 70	① 7 ② 77	① 7 ② 78	/	/
		目 標	②の目標値		①3②14	①2②11	①2②11	①2②11	①2②11
		目標値設定の考え方		予算計上申請見込み件数					
活動指標	③の数値	①件 ②回	① 1 ② 21	① 0 ② 7	① 0 ② 1	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	391,000	141,000	10,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円		141,000	6,000	
			特定財源	円	391,000		4,000	
		(うち受益者負担)		円				
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	66.0	66.0	66.0	
			所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	283,800	277,200	277,200			
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	674,800	418,200	287,200			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		開始時期 平成24年4月 開始目的 河川の氾濫や浸水の防止、地下水の涵養を図り、併せて雨水の自区内処理を促進する。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ・雨水貯留槽については、庭や植木への散水利用から、防災時に使用するための貯留へと設置者の意識が変わりつつある。 ・雨水浸透ますについては、年1、2件程度の申請件数があったが、建替え等による対象建物が減少している。

仕 事 の 内 容	雨水浸透ます・雨水貯留槽設置補助事業			
担当部署・課長名	下水道	課	庶務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし			
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
6 市民協働	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 ・雨水浸透ます設置補助については、水環境の保全を図るために、現行どおり補助を行なうことが適切であるが、申請件数が少ない。 ・雨水貯留槽設置補助については年々申請件数は増加しているが、雨水補助事業について広く周知が出来ていない。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 HP及び市報等でPRした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 雨水浸透ます設置補助及び雨水貯留槽設置補助については水環境保全を図るために、現行どおり補助を行うことが適切であるため、広く周知行いたい。			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 地下水の涵養を促し、水環境の保全及び雨水の流出抑制を図るために、雨水補助事業を継続して行う必要がある。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 チラシ配布やポスター掲示等雨水補助事業を広く周知する。また、補助金交付を受けて雨水浸透ますや雨水貯留槽を設置した者に対し、雨水を最大限に有効利用するため、設置した雨水浸透ますや雨水貯留槽の定期的な保守点検や、常に良好な状態で管理してもらうことを周知する。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。